

(様式1)

北海道更別農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和8年度に重点化する取組及び具体的方策		
5つのミッション 8つの行動計画		行動計画の中で重点化する取組	目標達成 期 間	具体的方策
I グローバル教育で 人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	・各学科各コースの特色を活かした農業学習を推進するとともに農業クラブ活動を通して、職業人としての資質向上をはかり社会に必要とされる人材育成を行います。	B	・再編成した教育課程に則った教育活動を実践する。 ・農業クラブ三大事業の取り組みを充実させる。 ・資格取得を充実させ、生徒一人ひとりに合った進路実現を目指す。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	・JICA 北海道と連携し、異なる国の農業や文化に触れ、世界と日本について考えます。	A	・英語科と連携し外国語による表現力を養う。また、世界の多様な農業経営や食文化について学ぶ。
II 地域社会・産業に 寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	・地域の産業や環境の特徴を理解し地域に根ざした学習活動を進めます。 ・インターンシップにより職業観を育成するとともに、関係機関と連携し農業にかかわる人材育成を目指します。	A	・十勝型農業を学び、持続可能な農業経営の担い手としての資質を高める。 ・農業改良普及センターや農業関連産業、地域の農家やOBなどと連携を図り学習を進める。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	・地域の特産品および資源を教材としたプロジェクト活動をとおして、食品関連企業等と連携を深めます。	A	・地元企業と連携し、学校生産物を活用した加工品を製造・販売する。 ・知的財産を考慮した商品開発をとおして、6次産業化について学習する。
III 地球環境を 守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	・地域の基幹産業である畑作・畜産の学習をとおして、農業を起因とする環境問題について学びます。 ・圃場の輪作体系を考慮し、緑肥作物(ひまわり)を栽培します。	A	・ICT 機器を活用し、環境に負荷をかけない農業経営を実践する。 ・緑肥や堆肥を活用し、循環型農業を実践する。 ・JGAP(農産・畜産)の継続により、持続可能な農業を実現する。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	・地域資源を活用した加工品開発と地域イベントへの参加で、地域に貢献する活動を行います。 ・草花栽培をとおした交流学习を行います。	A	・地域の特産物を活用した商品開発に取り組み、イベントに参加し交流する。 ・幼稚園、小学校、シニア世代、中高養との花壇造成を行う。花コミュニケーションとかちと花フェスタ札幌に出品する。
IV 拠点となる学校	7 「Society5.0 の時代に応じた教育」を行います。	・各科目の中で、データサイエンスを活用し、自ら考えて行動する授業を展開します。	A	・DX ハイスクール事業で導入した各種機器の活用と、そのデータ分析を行い、生徒の探究活動へと繋げる。 ・AI を活用する中で、データを選択する能力を身につける。
V 推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	・常に防災意識を持ち、不測の事態に冷静に対応できる態度を育てます。	A	・防災学校を実施し、防災意識を高める。